

天然木による極薄製品「^{きじし}木地紙」の開発について

【相手先企業】

北三株式会社 茨城工場 馬場先木工所

【目 的】

ユニバーサルデザインを取り入れた癒しの木製品の開発を行う。

【内 容】

木地紙は、県内木工関連企業及び、本県出身で地元産業活性化への熱意をお持ちのトライボッド・デザイン株式会社の中川聡氏との間を当センターがコーディネートし、アドバイスを頂きながら製作した商品です。

本製品は、木という素材の、優しさや温かさを最大限に生かし、使用者ひとりひとりが様々な発想で、自由な形を手軽に作り出せるという楽しさを提供し、創造を促しながら知的または感性生活を育むことが出来る、“天然木目を生かしたクラフト紙製品”として作られました。

素材は約0.15mmの超極薄に加工された木材(通称ツキ板)から作られた製品で、木材でありながら、手でちぎったり、曲げたり、折ったりすることができます。また、光透過性にも優れるといった特徴があり、単体での製品展開のほか、インテリア用品やオフィス用品等、幅広い利用用途の可能性を持っています。

【成 果】

平成16年10月には東京ビックサイトで開催された国際福祉機器展及び県民祭りに本製品を出展し、また12月には「MEGA@WEB(トヨタ自動車のテーマパーク)」(東京)でのクリスマスイベントに使われ好評をいただきました。

今後センターでは、木地紙及びツキ板を用いたインテリア製品等の開発を支援していきます。

木地紙の価格・販売時期は現在検討中。



写真 木地紙

基礎となった事業：オンリーワン技術創出創総合支援事業

共同研究「癒しの木製品開発」(平成16年度)

担当部署：産業連携室 (県産木材利用チーム)